

## ※口頭扱い

平成29年6月16日

市民政党「草の根」

代表 井原勝介 様

平成29年(2017年)5月29日に提出された「北朝鮮問題に関する公開質問状」について、下記のとおり回答します。

### 記

#### 1.

米軍再編については、日本の防衛のみならず、アジア太平洋地域や国際社会の平和と安定にも重要であり、その円滑かつ着実な実施の必要性は理解しているところであり、また、岩国基地への空母艦載機等の移駐に関しては、その負担の緩和に一定の配慮がなされていることから、基本的には協力すべきものと認識しています。

空母艦載機の移駐に係る判断につきましては、5月21日、23日に開催した住民説明会や5月31日の市議会全員協議会でも申し上げましたとおり、安心・安全対策や地域振興策、国への要望事項等の達成状況、また、これまでの成果等を判断材料とし、住民説明会及び市議会全員協議会でいただいたご意見を総合的に判断のうえ、市の方針を決定し、6月市議会定例会の会期中に表明したいと考えています。

#### 2.

市においては、6月27日15時に、実際にミサイル落下の恐れがある場合を想定して、全国瞬時警報システム、通称「Jアラート」により国が発信する音声を放送する訓練を実施する予定です。

北朝鮮から弾道ミサイルが発射された場合、10分程度という極めて短時間のうちに日本に飛来する可能性があることと想定されていることから、多くの方にその事態をお知らせする「実際のサイレン音」と「メッセージ」を聞いていただくことを目的とし、訓練当日は、ミサイル発射時に流れる実際の音声を「市内全242基の防災行政無線屋外スピーカー」や、「各家庭内に設置してある戸別受信機」に一斉に放送することを予定しています。

北朝鮮が日本に向けて弾道ミサイルを発射する可能性を否定することはでき

ませんが、他方、その際どこを標的にするのかといった点については、その時々  
の情勢や北朝鮮による その時点の意図、目的によって異なると思われることか  
ら、一概に申し上げることはできませんが、市としては、不測の事態に備えた  
情報伝達訓練などを今後の状況を見極めながら行っていく必要があると考えて  
います。

また、国においては、弾道ミサイルの脅威に対しては、SM-3搭載のイー  
ジス艦やPAC-3を配備するとともに、日米安保体制による抑止力・対処力  
の向上に努めることにより、適切に対応されています。

何よりも、万が一の事態とならないよう、国際社会が連携して、北朝鮮に挑  
発行動を起こさせないよう努力していくことが必要であり、現時点でシェルタ  
ー等の設置については考えていません。

### 3. (住民説明会における質問のコントロールについて)

5月23日にシンフォニア岩国で開催した住民説明会においては、277人の  
参加がありました。

そうした中で、空母艦載機の移駐に関して同じ考えを持つ住民の方々に構成  
される団体、組織、グループにおいて、動員されたり、参加を呼びかけられたり  
することを否定するものではありません。

一方、市においては、住民説明会には多くの住民に参加いただきたいとの考  
えから、「広報いわくに」に掲載するとともに、あらゆる場面において、広く周  
知を図ってきたところですが、そうした周知をする際に、特定の団体や組織、  
人物に偏って呼びかけることはなく、また、市に都合のいい質問をお願いする  
ことはありません。

市としては、限られた時間の中ではありますが、住民の皆様から、広く、公  
平に、様々な観点からの御意見を伺いたいと思っておりました。

今回の住民説明会において、開会前に、「質問をしたいので当ててほしい」と  
いう依頼が賛成、反対の立場の方の一部からありましたが、市として、「事前に  
打ち合わせをした」とか、「コントロールをした」ということはありません。

以上